

# SKY コーナー

## 「2019年度 安全推進大会& SKYフォーラム」開催(九州支部)

“「私たちは過去の事故を教訓に  
類似事故を絶対に起こしません」ヨシ!”



情報通信エンジニアリング協会 九州支部

### はじめに

2019年12月5日(木)、福岡県宗像市のグローバルアリーナにおいて、NTT西日本グループと一般社団法人情報通信エンジニアリング協会九州支部との共催により「2019年度 安全推進大会&SKYフォーラム」が開催され、九州エリアのNTTグループ12社、通信建設会社4社から総勢約1,100名が参加しました(写真1)。

### 開会式

開会式では、NTT西日本取締役小澤九州事業本部長様より、「地球規模での気候変動による自然災害の大規模化・激甚化に対して、NTTグループのみでなく通信建設会社、協力会社のみならずともしっかりとコミュニケーションを取って知恵を共有して取り組んでいきたいと思っています。NTT西日本九州事業本部

の上半期の事業運営については、好調に推移しており、これは、フロントの活躍だけではなく、日頃のみなさま方設備分野での品質がすべての事業運営のベースとなり成果となって反映されていると感じています。

災害対策や事業運営等において、一番大切なことは安全であり、本大会は、安全に対して再度全員で気合を合わせていく場と考えています。講演や実演・展示等、今日この場で一日学んだことを職場に持ち帰り水平展開するとともに、みなさまが実践をして周りに影響を及ぼしていき、安全の輪を広げていければと思っています。」とのご挨拶がありました(写真2)。

引き続き、情報通信エンジニアリング協会九州支部 熊本支部長より、「当協会における安全について振り返った場合、昨年同様、人身事故、設備事故が全国で発生しています。九州でも人身事故が2件、設備事故が1件発生しており、撲滅にいたっ

ていない状況であります。みなさまには日頃から高い意識を持って安全作業に取り組んでいただいているところですが、あたりまえのことを、ぼーっとしないで、ちゃんとやる。このABCを、今日を境に改めて1人ひとりが認識して、1つひとつの作業に取り組んでいただくことが、本当の意味での「安全が定着した」ことになるのではないかと思います。本日の講演、体感、実演、展示等を、ぜひ、自分の目で自分の手で感じ取って職場に持ち帰り、仲間のみなさまにお伝えしていただきたい。」との挨拶があり(写真3)、その後、株式会社協和エクシオ 戸田社員のリードにより参加者全員で「安全唱和」を行いました(写真4)。

### 講演

ピーアールエム研究所の今泉 發三氏より、『“全脳活性化”及び“潜在意識を意識した”労働安全対策』



写真1 第一会場模様



写真2 小澤九州事業本部長挨拶



写真3 熊本支部長挨拶



写真4 参加者全員による「安全唱和」

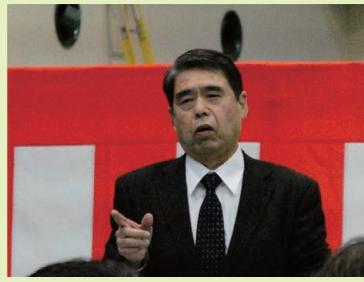


写真5 今泉 發三氏



写真6 講演模様



写真7 VR危険体感(西部電気工業株)



写真8 VR危険体感(株協和エクシオ)



写真9 VR危険体感(株NTTネオメイト)



写真10 アクセスチェッカーによる  
運転適性診断

#### 【体感概要】

鉄塔や電柱、梯子、脚立からの転落、荷崩れ、逸走、飛び込まれ等の事故に遭遇した場合の衝撃や恐怖感を仮想で体感して、危険への感受性を高めていただきました。今年度も多くの女性来場者の方に体験いただきました(写真7～9)。

「アクセスチェッカーによる運転適性診断」株式会社エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ西日本九州支店

#### 【体感概要】

運転シミュレータ機能付き可搬式運転適性診断機器「アクセスチェッカー」による運転適性診断と、市街地等の走行時に遭遇する危険場面を疑似体験して交通安全への意識を高めていただきました(写真10)。

#### 【第二会場】

「光ケーブル架渉作業中の飛び込まれ事故実演」西部電気工業株式会社・日本コムシス株式会社

#### 【実演概要】

道路上における飛び込まれ事故の再現と、飛び込まれ事故の防止に向けた片側道路規制時の保安施設標準

設置パターンを実演し、道路使用許可条件の遵守、作業手順を踏まえた基本動作(近道行動の排除)の重要性を認識していただきました(写真11・12)。

〈事故事例〉2019年5月20日(月)

光ケーブル架渉作業中、高所作業車のブーム先端に大型トレーラーが衝突し、高所作業車が横転したことにより、作業員が投げ出され死亡した。

「穴掘建柱車による下部支線撤去作業中の事故実演」西部電気工業株式会社

#### 【実演概要】

穴掘建柱車による下部支線撤去の作業手順と誘導者の役割、および危険ポイント等について実演し、下部支線撤去作業時の基本動作の重要性を認識していただきました(写真13)。

〈事故事例〉2019年9月6日(金)

下部支線の撤去の際、穴掘建柱車のワイヤ巻き上げ中に、掘削穴を覗いた瞬間、下部支線が一気に抜け、スコップ先端と支線安定板が接触したはずみで、手に持っていたスコップ

をテーマに、

1. 脳の機能および特性に基づいた安全対策
2. 日常業務における安全対策
3. 連続災害徹底的防止による安全対策

等について、さまざまなテスト体感を交えて講演をいただきました(写真5・6)。

## 実演・体感

### 【第一会場】

「VR危険体感コーナー」西部電気工業株式会社・株式会社協和エクシオ・株式会社エヌ・ティ・ティネオメイト九州支店





写真11 飛び込まれ事故実演

光ケーブル架渉作業中の飛び込まれ事故実演



写真12 保安施設標準設置パターン実演



写真13 穴掘建柱車による下部支線撤去作業中の事故実演



写真14 電柱積み下ろし作業中の事故実演



写真15 引込線張替え作業における梯子からの転落事故実演



写真16 三段はしご作業時の指挟まれ事故の実演

プが跳ね上がり被災した。

### 「電柱積み下ろし作業中の事故実演」

株式会社SYSKEN

#### 【実演概要】

運搬車両の落下防止装置を超える高さで二段積みした電柱が荷崩れを起こす様子を実演することにより、二段積みおよび歯止めがない状態の危険性と電柱積み下ろし作業の基本ルールについて説明を行いました(写真14)。

〈事故事例〉2019年2月22日(金)

電柱置き場整理のため、他の電柱置き場から運搬してきた電柱を、トラックの荷台から下ろすため張線器を緩めたところ、電柱が荷崩れし作業員が下敷きとなり死亡した。

「引込線張替え作業における梯子からの転落事故実演」株式会社NTTフィールドテクノ九州支店

#### 【実演概要】

引込線張替え作業中、柱間分岐点にはしごをかけ、分線金物から引込

線を外した反動による転落事故実演をし、はしご立て掛け時の基本ルールの確認や使用方法について説明を行いました(写真15)。

〈事故事例〉2019年9月9日(月)

故障修理に伴う引込線張替え作業中、ケーブルにはしごをかけ、柱間分岐点で分線金物から引込線を外した時に、反動ではしごが倒れ落下した。

「光開通工事における三段はしご作業時の指挟まれ事故の実演」株式会社SYSKEN

#### 【実演概要】

光ドロップ新設作業において、中間で絡まった光ドロップを解消するため、はしごを立て掛ける際にはしごの上段部分が滑り落ち、指を挟み負傷した事故を実演し、誤った操作による危険性と正しい操作方法について説明を行いました(写真16)。

〈事故事例〉2019年11月12日(火)

光開通工事において、三段はしご

を使用中、はしごのスライド式の上段部分が滑り落ち、小指を挟んで負傷した。

### 「昇柱準備中の踏み外し事故実演」

株式会社NTTフィールドテクノ九州支店

#### 【実演概要】

昇柱準備中の踏み外し事故の実演をすることにより、昇柱作業における基本ルールの確認と昇柱作業に必要な器具工具の使用法について説明を行いました。

〈事故事例〉2019年2月4日(月)

引込線垂下り撤去作業中、昇柱するために補助昇降具を設置し、設置状態の確認のために電柱の胴体部分に足をかけ踏み込んだところ、足が滑り落下し捻挫した(写真17)。

「蓄電池回転治具による指挟み事故の防止実演」株式会社NTTファシリティーズ九州支店・株式会社協和エクシオ

#### 【実演概要】



写真17 昇柱準備中の踏み外し事故実演



写真18 蓄電池回転治具による指挟み事故の防止実演



写真19 フルハーネス型 墜落制止用器具体験・実演



写真20 EV車による電力供給体験

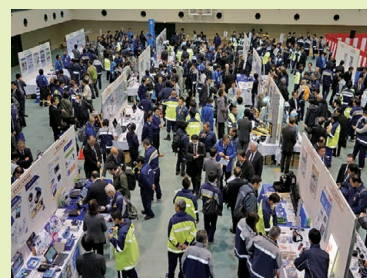


写真21 展示・紹介 ブース全景

表1 第一会場 展示／紹介 出展会社一覧

1	NTTインフラネット(株)	13	九州電機工業(株)	25	(株)ジャパンリーコム
2	テルウェル西日本(株)	14	(株)フジクラ	26	岡野電線(株)
3	東日本電信電話(株) 技術協力センタ	15	(株)スズキ技研	27	(株)セフティハウス
4	日本コムシス(株)	16	西部電設(株)	28	東名通信工業(株)
5	(株)協和エクシオ	17	マサル工業(株)	29	(株)浅羽製作所
6	(株)ナカオ	18	理研計器(株)	30	NTTレンタル・エンジニアリング(株)
7	藤井電工(株)	19	大東電材(株)	31	(株)タダノ
8	(株)トーツー創研	20	(株)アイチコーポレーション	32	アンリツ(株)
9	西部電気工業(株)	21	西日本電線(株)	33	日本通信電材(株)
10	(株)SYSKEN	22	(株)八光電気製作所	34	(株)永木精機
11	住友電気工業(株)	23	高千穂産業(株)	35	(株)正電成和
12	横河計測(株)	24	古河電気工業(株)		

蓄電池の設置や撤去する際に、蓄電池モジュールの電極面を変更する必要がある場合がまれに発生します。変更中の作業員が指を挟まれる事故が発生したため、再発防止策として「回転治具」を製作したので紹介、治具の使用方法について実演を行いました(写真18)。

〈事事故例〉2018年11月9日(金)

解体した蓄電池モジュールを仮置きスペースの枕木に下ろし、電極面を横向きから上向きにする際、蓄電池モジュールが滑り、指を挟み負傷した。

### 「フルハーネス型 墜落制止用器具体験・実演」株式会社トーツー創研

【実演概要】

安全帯の規格改正について、フルハーネス型安全帯装着方法・ぶら下がり体験を行いました。

〈体験内容〉

- ・フルハーネス安全帯の装着方法
- ・ぶら下がり体験台による宙吊り状態の疑似体験(写真19)

「EV車による電力供給体験」株式会社エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ西日本九州支店

【実演概要】

EV車から、専用機器を介して100Vコンセントへ電気出力する仕組みを実演し、屋外や出先でもさまざまな電気製品の電源として活用できることを説明しました(写真20)。

### 展示・紹介ブース

第一会場の展示／紹介ブースでは、終日、各通信建設会社・メーカー等35社による新技術・開発品などの展示が行われました(写真21～25、表1・2)。



表2 各通信建設会社の出展品

西部電気工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かん類蓋固定具</li> <li>・カムラアタッチメント(仮)</li> <li>・光ドロップケーブル対照器 ver.2</li> <li>・Bバンド締め付け工具【改】</li> <li>・RSBM浮子防護カバー</li> </ul>	(写真22)
株式会社SYSKEN	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガスフラッシュテスト方法の改善</li> <li>・ラック配線用金車</li> <li>・MH入孔時における落下防止装置 固定具</li> <li>・柱上作業における光融着接続機の作業台</li> <li>・地上からの線条撮影ツール</li> <li>・電柱運搬時の歯止め</li> </ul>	(写真23)
株式会社協和エクシオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Voice-KYデータを活用した施工者の安全意識の醸成</li> <li>・同軸端子用ドライバ</li> <li>・LED保安柵</li> <li>・高開口床パネル開閉工具</li> <li>・落下防止用防災メッシュシート</li> </ul>	(写真24)
日本コムシス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分線金物用(30N・m専用)トルクレンチの改善</li> <li>・スライドバー吊り式屏風</li> <li>・ケーブル延線U字ローラー</li> <li>・かけたいねん</li> <li>・パネルストレージャー</li> </ul>	(写真25)



写真22 西部電気工業株式会社ブース



写真23 株式会社SYSKEN ブース



写真24 株式会社協和エクシオブース



写真25 日本コムシス株式会社ブース

## 閉会式

閉会にあたり、株式会社エヌ・ティ・ティネオメイト 宮部九州支店長様から「人間はエラーをする生きものであるという前提に立ち、事故事例から学んだ安全行動を潜在的な

意識まで浸透させ、日常の業務に活かしていくことが必要であり、それが自分の命を守り仲間の命を守ることにあります。」とのご挨拶がありました(写真26)。続いて、株式会社NTTフィールドテクノ九州支店 佐賀営業所の工藤社員と平田社

員による「決意表明」が行われ(写真27)、最後に、エヌ・ティ・ティ・インフラネット九州事業部 鹿児島支店 畑野社員のリードにより、参加者全員で「大会スローガンの唱和」を行い閉会しました(写真28)。



写真26 宮部支店長閉会挨拶



写真27 「決意表明」  
工藤社員・平田社員



写真28 「大会スローガン唱和」  
畑野社員